

会 議 録 (1)

会 議 の 名 称	入間市地域福祉計画進行管理委員会
開 催 日 時	令和4年3月22日(火) 午前10時 開会 ・ 午後11時45分 閉会
開 催 場 所	市役所 4階 大会議室
議 長 氏 名	栗原正明
出席委員(者)氏名	三上 勝 下里隆子 春名恭一 川合輝之 栗原正明 伊藤祐一 橋本康夫 今井英雄
欠席委員(者)氏名	山下恵久子 橋本清美 臼井 秀 白水 翠 宮岡幸江
説明者の職氏名	福祉総務課 課長 宮元良知、主幹 浅見孝之、主任 喜多美和、
会 議 次 第 (公開・非公開の別)	1 開 会 2 委員長あいさつ 3 議 題 (1) 令和3年度第3次入間市地域福祉計画の進捗状況及び進行管理報告 4 その他 「今後の予定など」について 5 閉 会
非 公 開 理 由	なし
傍 聴 者 数	なし
配 布 資 料	・会議次第 ・令和2・3年度「元気ないるま福祉プラン」における主な取り組み ・令和3年度第3次入間市地域福祉計画進行管理報告書(案) ・その他について(今後の予定など)
事務局職員職氏名	福祉総務課 課長 宮元良知、主幹 浅見孝之、主任 喜多美和、 主事補 山亀 晃
会議録作成方法	要点筆記

会 議 録 (2)

議 事 の 概 要 (経 過) ・ 決 定 事 項

議 題

- (1) 会議録署名人の選出について
名簿順により、下里隆子委員に依頼

- (2) 第3次入間市地域福祉計画の進捗状況及び進行管理報告（令和3年度分）
・令和3年度を中心に、成果と課題について、資料に基づき事務局より説明

会 議 録 (3)

発 言 者	発 言 内 容
	(委員及び事務局の発言が行われた部分のみ記述する)
事務局	(議題(1)第3次入間市地域福祉計画の進捗状況及び進行管理報告について事務局より説明)
栗原委員長	今の説明に対するご意見、ご質問など何かありますでしょうか。
下里委員	避難行動要支援者制度について、登録者の状況は当初に提出した時と変化している場合があるので、本人に内容を再確認していただくため、まずは現況確認通知をして欲しい。個別避難支援計画作成状況は、25人が作成済みというの少ないのではないかと。
浅見主幹	個別避難支援計画は、自治会の協力を得て様子を見ながら作成している。危機管理課と調整を重ねていく必要あり。
下里委員	個人情報ネックになっていると思うが、寝たきり、車いす等助ける方にオープンにして欲しい。現況確認通知で洗い直す時にチェックポイントとして欲しい。助けられる側として、何が何でも私を助けてと言うのではなく、支援者の方の状況でいい。電話をもらえるだけでも嬉しい。支援者はお守りみたいな物。
浅見主幹	令和3年5月に災害対策基本法等が改正され、個別避難計画が努力義務化になった。支援する側も、まずは本人の身の安全が第一。自分の身の安全確保を第一とし、できる支援をする。個人で支援するのは負担が多いので、地域の班や組、団体の協力をお願いしている。

発 言 者	発 言 内 容
伊藤委員	<p>今まであったが入っていないものがある。自殺・虐待についても前年度と今年度の件数を載せた方がいい。具体的な所が見えないので、こういう事業が必要。困っている方を地域でフォローしていく重大性を考えて欲しい。増減だけでもいい。地域のささえあいはゴミ出し事業が多く、ゴミ出しボランティア（ボランティアポイント）は、件数等を載せ上手くいっているか否か等、現状を踏まえた課題等を載せたらいいのでは。身近なささえあいが最も必要。</p>
喜多主任	<p>自殺等の件数は年度途中で集計ができず掲載しなかった。件数確認ができしだい掲載する。ゴミ出しボランティア事業を、報告書と次回の資料に掲載する。</p>
浅見主幹	<p>報告を省いている事業があるが、計画開始時より進捗管理している事業は、計画の中でも特筆したものであり、継続して評価していく必要がある。次回報告時に改める。ゴミ出しボランティアは、見守りボランティア事業の協力員に、ボランティアポイントをつけて取り組んでいただいている。地域によってマッチングが難しい。利用希望者とボランティアのマッチングはシステムで管理している。</p>
今井委員	<p>自殺対策計画や市と地域のゴミ出しボランティア制度の位置づけはどこになるのか。</p>
浅見主幹	<p>ゴミ出しボランティア制度という名称はないが、互助の第5章第2節「地域に存在する資源の横断的連携強化」に関わる見守りボランティア事業に位置付けている。各事業に取り組む課はいろいろあり、まとめて地域福祉計画に載せている。自殺対策については、地域保健課が担当している。</p>

発 言 者	発 言 内 容
今井委員	<p>ヤングケアラーは資料にはない。実態調査の結果を載せて欲しい。個別避難支援計画作成状況は、所沢市・狭山市・日高市・飯能市の方が進んでいる。作成済みが 25 人というのは、自治会との調整が上手くいっていない。ここを改善しないと人数は増えない。計画が進むようにして欲しい。</p>
浅見主幹	<p>自主防災会は平成 7 年頃に結成されたが、自主防災会との枠組みが上手くいっていない。個別避難支援計画は、県内において入間市ともう 1 市で作成していない所があったがようやく入間市も進み始めた。</p>
橋本（康）委員	<p>生活支援コーディネーターや地域福祉コーディネーターの活動を入れて欲しい。ケアラーの問題は、既存の福祉サービスにつながっていれば避けられる問題ではないのか？子どもが支援しなくてはならない方がいるのは福祉計画に漏れがあるのか。</p>
浅見主幹	<p>生活支援コーディネーターと地域福祉コーディネーターの活動も載せさせてもらおう。新市長はヤングケアラーの支援を中心に舵を切った。実態調査の資料をつけさせてもらおう。これからどういう対応をしていくのか支援計画を策定し具体化していく。そもそも、どこかの支援の対象とされていれば問題にならない事象でもある。ヤングケアラーは、声をあげないという特性があり、表面化しにくい状況になっている。</p>
橋本（康）委員	<p>支援を受けている者が声をあげるようにできないか。</p>
浅見主幹	<p>ヤングケアラーは、こども支援課だけではなく、支援を受ける側の高齢者等の担当と連携を取りながら、制度の狭間となっているのではないか確認の必要がある。これは新しい分野となっている。</p>

発 言 者	発 言 内 容
橋本（康）委員	末端の問題を解決するには、生活支援コーディネーターの果たす役割が重要だと思う。
浅見主幹	地域包括支援センターの方等の協力をお願いしている。
橋本（康）委員	ささえあい組織の「武蔵台ささえあいの会」は終わってしまったのか。
喜多主任	「武蔵台ささえあいの会」は、今年度で終了になります。
三上委員	「ささえあい東藤沢」も、今年度で終わりの予定。地域の要望はあるが、後継者が育たず担い手の高齢化により総会で終了が決まった。
橋本（康）委員	今までのやり方では駄目で、続けるための発想の転換をして、皆で考えなくては。
浅見主幹	令和4年度に金子と藤沢地区で設立を考えている。その他の地域は、生活支援コーディネーターが間に入り調整を行っている。地域によって温度差がある。
伊藤委員	<p>ささえあい西武も今後何年続けられるのかと思っている。高齢者の困りごとに対応しているのみでは活動が行き詰まってしまう。支え合うという意味では、ラーメン・そば・お寿司を一緒に食べる会、また、パチンコ等一人では行けない高齢者に付き添う等、遊びの要素がある明るい内容の開かれたボランティア活動であってもいいのではないかと。</p> <p>色々な経験をしている委員長の意見も聞きたい。発言をまとめるだけでなく、委員長も発言できるように取りはからって欲しい。</p>

発 言 者	発 言 内 容
今井委員	委員長はそれをしてはいけない。委員長をおりて話をすべき。
浅見主幹	今井委員フォローありがとうございます。伊藤委員の意見も理解はできる。ただ、現に委員長からも度々意見をいただいております。また、会の運営上も堅苦しいものにしたくないと考えている。「ささえあい」は、手法を変えて是非何か良い知恵があれば意見をお願いしたい。
橋本（康）委員	福祉プランにはコロナ対策関係がないが、載せた方がいいのではないかと。総合相談支援室は、地域の拠点に作るという話が突然市役所内に作るという形になっている。
浅見主幹	コロナ対策関係の掲載については検討します。総合相談支援室は、前回委員会時の7月時点では何も決まっていなかったが、9月に計画が示された。ただし、拠点整備として地域に地区センターを作ることは変わらない。その調整役として、市役所内にも総合相談支援室を作ることになった。総合相談支援室は、相談員6人を含む9人程度で4月1日に開設する。地区センターとの関係は未定。
橋本（康）委員	総合相談支援室が市役所に出来るのはいいが、今までの説明は何だったのか納得しかねる。
今井委員	トップダウンだから、方向転換も仕方がない。
栗原委員長	分析の結果を宿題として、次の地域福祉計画に反映して欲しい。 子育て支援包括センターや地域包括支援センター等それぞれはしっかりしていても、縦軸だけではなく、お互いに協力して欲しいと報告の中に入れ

発 言 者	発 言 内 容
浅見主幹	<p>て欲しい。</p> <p>今後、横軸の連携・支援を総合相談支援室で行っていきたい。</p>
栗原委員長	<p>それでは、何か他にご意見・ご質問等がありますか、無いようでしたら、これで議長の役を降ろさせていただきます。ご協力ありがとうございました。</p> <p>(その他について)</p>
下里委員	<p>計画体系の見直しで、社会福祉協議会の地域福祉活動計画の委員と兼務になるのか。</p>
浅見主幹	<p>現在、社会福祉協議会の委員と兼務している方もいる。これからは、活動計画と策定委員を一緒にできないかと考えている。理念計画があつて行動計画につながるので、単なる合冊ではなく一体的に整備をはかり、また、進行管理委員会等の任期についても統一できないか協議をしている。</p>
下里委員	<p>表裏一体なので、統合していくのはいいのだが、人数が多いのは会議では大変だと思う。</p>
栗原委員長	<p>役割は活動、進行、策定の3つ。市は理想・理念になり、社会福祉協議会は予算を執行して実際に動かなくてはならない。</p>
浅見主幹	<p>理念と実践になるので、今後ご意見を伺いながら進めて行きたい。</p>

発 言 者	発 言 内 容
事務局	<p>今日いただいたご意見を踏まえ、修正した報告書を皆さんへお送りするので確認してもらいたい。その上で、何かご意見があれば寄せていただきたい。</p>
<p>議事のでん末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。</p> <p>令和4年6月1日</p> <p>議 長 の 署 名 栗 原 正 明</p> <p>議長が指名した者の署名 下 里 隆 子</p>	